

【ハイチ】事業監理/案件形成促進

企画調査員（企画）2019年度上期公募

応募の際は、諸条件を「募集要項」にて必ずご確認ください。

派遣国名	ハイチ	任地	ポルトープランス	派遣期間	24ヵ月	長期
指導科目	事業監理/案件形成促進			分野分類	多岐にわたる分野	
配属事務所	JICAハイチ支所			募集人数	1名	
チーム構成	JICAハイチ支所には、本ポスト以外に、支所長1名、企画調査員（長期）1名、ナショナルスタッフ（複数）が勤務しています。					
派遣時期	2019年7月上旬～2021年7月上旬					

求められる資質と能力

分野・課題専門力	★	コミュニケーション力	★★★	格付	B号
総合マネジメント力	★★	援助関連知識・経験	★★	在勤基本手当	
問題発見・分析力	★★	地域関連知識・経験	★	626,100円	

事務所からのひとこと	<p>こんな方におすすめです</p> <p>関係者と協力しながら、効率的に業務を推進できる方。</p>																				
	<p>ハイチ地震から7年近く経たハイチにおいて、同国の今後の開発に貢献する案件発掘や案件の実施促進に携わることになります。少数精鋭のJICAハイチ支所では、企画調査員・現地要員と協力しながら効率的に業務を推進することや他ドナー等関係者との援助調整の推進が求められます。是非、ご応募をお待ちしております。</p>																				
案件の背景	<p>ハイチは、一人当たりGDPが766ドル（2017年）の、中南米の最貧国である。1990年代以降、政情不安に加え反政府勢力の活動によって治安情勢は劣悪な状況にあったが、2004年～2017年に活動した国連ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH）により、治安の安定化及び民主化のプロセスが進められた。</p> <p>また、ハイチは2010年1月に発生した大地震により、死者約31万6000人、被害額約76億ドル（同国GDPの約1.2倍に相当）に上る甚大な被害を受け、また2016年のハリケーン・マシューをはじめとして、甚大な被害をもたらす自然災害が毎年のように発生している。</p> <p>かかる状況において、JICAは「大地震からの復興と基礎社会サービスの確立」を基本方針として、「保健・衛生」、「教育振興」等を重点分野とした協力を行うとともに、被災時には緊急援助も実施している。</p> <p>ハイチの脆弱な行政能力、不安定な治安状況の中、案件が円滑に実施されるには、ハイチ支所によるハイチ政府側関係者等との調整、モニタリングやフォロー等の事業監理が重要となっており、ハイチ支所の機能が十分に発揮されるよう、実施体制を強化する必要がある。また、ハイチ支所には、ハイチにおける優良案件の形成や、他ドナーとの情報交換・協調等も求められている。</p>																				
委嘱業務の目的	<p>ハイチ政府及び他国際機関等の開発パートナーと緊密な連携を図りつつ、JICA事業（技術協力及び無償資金協力等）の円滑な実施監理と効果的な新規案件の形成にかかる支援を行う。</p>																				
期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施中の事業（技術協力及び無償資金協力等）が円滑に実施される。 2. 新規事業（技術協力及び無償資金協力等）の形成が適切になされる。 3. 開発に係る関係機関との連携が適切に行われる。 4. 支所の業務が規則どおり適切に行われる。 																				
業務/職務内容	<p>JICAハイチ支所長の示す方針の下で、JICAドミニカ共和国事務所（兼轄親事務所）、JICA本部と連携しつつ、支所における連絡調整の中心として以下の業務を行う。</p> <p>【1. 案件形成支援業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先方政府機関等に対し無償・技協等にかかる各種制度・手続きの説明を含むJICA事業への理解を促す。 2. 日本の国別開発協力方針の策定/改訂支援を行い、これとハイチ政府の開発計画に基づく新規案件の形成支援を行う。 <p>【2. 案件実施監理業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 案件実施監理強化のため現状分析、課題の特定、支所の各種マニュアル等の見直し・整備を行う。 2. 実施機関との協議に出席し、実施案件の現状について把握し、本部へ報告する。また、案件が抱える課題の把握に努め、必要に応じて本部と相談し、課題の解消に努める。 3. 帰国研修員の同窓会事業の企画・運営支援及び支所ナショナルスタッフへの指導・助言を行う。 4. 研修事業の適切な監理、マニュアルの見直し・整備、支所ナショナルスタッフへの指導・助言を行う。 5. JICA事業に関する各種情報収集・整理、案件概要の作成および各種広報活動を実施する。 6. 緊急援助の必要が生じた場合、支所長と共に関連活動の支援を行う。 <p>【3. 事業促進業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現地ODAタスクフォース、JICA本部等と共にJICA事業（技術協力、無償資金協力等）の相乗効果発現に努めるとともに及び事務所ナショナルスタッフへの指導・助言を行う。 2. IDB、世界銀行、IMF等の開発パートナーと情報交換を行い、援助動向を把握・分析する。 3. 形成された三角協力案件/他ドナーとの連携案件実施に必要な調整を行う。 <p>【4. 事業実施にかかる各種業務】</p> <p>上記業務に付帯した会計、調達、物品管理、安全対策、情報システム管理、広報などを補佐する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 各種調査団の受入準備・対応を遅滞なく実施し、円滑な調査団受入に必要な業務を実施する。 <p>【5. 社会経済状況等情報収集業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治・（マクロ）経済・財政状況、政府債務、金融等の状況に関する情報収集を行う。 <p>【6. その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その他、上記1～5に関連する付帯業務を行う。 <p>※現時点での案であり、今後変更される可能性がある。</p>																				
資格要件	<table border="1"> <tr> <td>学歴</td> <td>学士あるいは同等程度</td> <td rowspan="2">語学</td> <td>仏語</td> <td>A</td> <td>以上であること</td> </tr> <tr> <td>必要な技術</td> <td></td> <td>英語</td> <td>B</td> <td>望ましい</td> </tr> </table>	学歴	学士あるいは同等程度	語学	仏語	A	以上であること	必要な技術		英語	B	望ましい									
	学歴	学士あるいは同等程度	語学		仏語	A	以上であること														
	必要な技術			英語	B	望ましい															
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">必要な業務経験</td> <td>途上国での類似業務経験</td> <td>必須</td> <td rowspan="2">青年海外協力隊経験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>JICA企画調査員の経験</td> <td>望ましい</td> <td>望ましい</td> <td>治安</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>JICA業務調整員の経験</td> <td>望ましい</td> <td rowspan="2">備考</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>JICAでの業務経験</td> <td>望ましい</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	必要な業務経験	途上国での類似業務経験	必須	青年海外協力隊経験			JICA企画調査員の経験	望ましい	望ましい	治安	あり	JICA業務調整員の経験	望ましい	備考			JICAでの業務経験	望ましい		
	必要な業務経験		途上国での類似業務経験	必須		青年海外協力隊経験															
JICA企画調査員の経験			望ましい	望ましい	治安		あり														
JICA業務調整員の経験			望ましい	備考																	
JICAでの業務経験		望ましい																			

なお、現在、治安上の観点から家族の同伴（一時的な呼寄せも含め）はできません（ただし、扶養親族の第三国への一時呼寄せ制度有り）。